

日本共産党のえんど久子県議ら要望

ニーズにあう県営住宅にして入居をすすめよ

えんど久子県議ら日本共産党は、これまでも県営住宅について、ニーズにあった改修を行い入居をすすめることや、連帯保証人の問題、敷地の管理の問題などで改善を求めてきました。5月20日、県営住宅について「生活と健康を守る会」が大分県に要望し話し合いました。

子育て世帯向けに改修

えんど久子県議（別府市生活と健康を守る会会長）の質問に対し県は、国の方針のもと大分の県営住宅は10年間で500戸を子育て世帯向けに改修したいこと、今年度は20戸を改修することなどを説明。フローリング、対面キッチン、玄関はベビーカーを置けるように広くするなど改修します。県営扇山第2住宅もこれに含まれます。

入居条件を緩和したものの

県営原住宅・扇山住宅・石垣原住宅などで高齢者の要望にこたえ、浴槽を低くしトイレの手すりや緊急警報装置の設置などを行います。

また、2022年4月から60歳未満の単身入居の条件が緩和されたものの、この緩和の対象である非過疎地域で障がい者等に当たらない60歳未満の単身入居は、県下でわずか3名です。もつとPRに力をいれるよう求めました。



連帯保証人に困らないために

連帯保証人は2名から1名に変更されるなど負担軽減されましたが、保証人免除など、さらなる改善をみんなです求めました。

また、入居者が高齢化し敷地内の木の剪定や草刈りなども大変です。えんど久子県議は、せめて電動ノコギリなどの提供や貸出をしてほしいとの声を紹介し、改善を求めました。

大分県は、国の方針のもと県営住宅や市営住宅を2040年までに2割減らす計画です。「ニーズが高く、減らすべきではない」とえんど久子県議は主張しています。

えんど久子県議（右）、美馬恭子別府市議（後ろ）ら県下各地の生活と健康を守る会の会員10名が、大分県と県営住宅について協議。大分市内にて。

2024. 5. 20.

通信制高校の環境整備が必要

中学生が市のとりくみをPR

毎年この時期に行われる所管事務調査。えんど久子県議は文教警察委員会で6日間、県下の学校や警察署などを視察し現状や課題などを学び、意見交換しました。

5月17日に訪問した臼杵市立野津中学校では、生徒達が、化学肥料などを使用しない「ほんまもん農作物」の紹介と通信販売の案内チラシを作り、修学旅行中に京都で通行人に配布したそうです。統廃合がすすみ、市の費用負担でタクシー通学する子もいるとのこと。

先生の持ち帰り仕事は？

教育事務所で、えんど久子県議は教員の持ち帰り仕事は把握しているか、などを質問。一部の学校では把握しているとのことですが、しっかり把握し働き方改革に活かすよう今後も求めていきます。

特殊詐欺に騙されないで!!

1 ぼあさんちっち ATMに行ってくるわ
ATM・コンビニ・電子マネーは特殊詐欺のキーワード

2 ほんまもん行かんかえ? ひょっとして詐欺?という気持ちを持って

3 通付金があるしんじつ。今、電話がかかってきたんよ
誰かに相談することはとっても大事なことです

4 ほんまもん詐欺に決まっつてろやがえ! 取り合われんすむ!
不審に思ったらすぐに警察署に電話! [62-2131]

大分県建設業協会津久見支部 臼杵津久見警察署

臼杵津久見警察署では啓発カレンダー（写真はその一部）を作り銀行・店舗・個人宅などに掲示。各署で警察官による劇団の公演・動画配信など特殊サギ防止等の啓発に努力中。

さくらの杜支援学校は実習が充実

各地の支援学校では、その子の良いところ得意なことを伸ばして一人ひとりにあった仕事をみつけようと、いろいろな取り組みをすすめています。

2年前に開校したさくらの杜高等支援学校には、一般就労をめざす生徒たちが自力で通学しています。実習の時間が多く、元杉乃井ホテルのシェフなど講師陣も実習施設も充実。卒業後もフォローしていくそうです。

県立校体育館に冷房を設置

不登校経験者などに自由な校風が人気で生徒数が増加している爽風館高校（定時制・通信制）では、教員と教室の不足が喫緊の課題です。求めてきた県立学校体育館の冷房は、今年度・来年度で39校に設置されます。

警察学校や機動隊の訓練等も視察。各部署の役割をしっかり発揮できるように、今後とも課題解決に努力します。



さくらの杜支援学校のメンテナンス実習の用具。流通販売コースや調理コースもある。パソコンや生活管理・対人関係などの教育にも力を入れている。